



サザンアジア・オールスター株式ファンド

設定日 2007年1月31日 決算日 原則 1月25日

追加型投信／海外／株式
2022年4月28日現在

基準価額の推移(2007年1月31日～2022年4月28日)

(設定日前日を10,000としております)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したもとして計算を行い表示しています。

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

4月末	前月比	3月末
12,119 円	▲1.5 %	12,303 円

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したもとして計算を行い表示しています。

1カ月	▲1.5 %
3カ月	2.2 %
6カ月	▲5.2 %
1年	▲7.2 %
3年	▲8.3 %
5年	9.7 %
設定来	51.7 %

資産構成

内訳	4月末	3月末
新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド	45.8 %	47.2 %
TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド	54.0 %	52.4 %
その他資産	0.2 %	0.4 %
純資産	5,413 百万円	5,540 百万円
元本	4,467 百万円	4,503 百万円

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

2022年1月	10 円
2021年1月	10 円
2020年1月	220 円
2019年1月	10 円
2018年1月	960 円
2017年1月	100 円
設定来合計	2,830 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



サザンアジア・オールスター株式ファンド

2022年4月28日現在

基準価額の要因分析

内訳	設定来 2007年1月31日から 2022年4月28日まで	直近1か月間 2022年4月1日から 2022年4月28日まで
新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド	3,246円	▲ 206円
TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド	4,014円	34円
信託報酬その他	▲ 2,311円	▲ 13円
分配金	▲ 2,830円	0円
合計	2,119円	▲ 184円

- ・要因分析に掲載した数値は、「サザンアジア・オールスター株式ファンド（以下、当ファンドといいます）」の日々の騰落額を、内訳に記載のある項目に分けて日々計算し、累積したものです。また、当ファンドにおける「新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド」および「TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド」の組入比率は、日々変わります。したがって、当ページの要因分析の数値と、3ページ目の「新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド」および5ページ目の「TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド」の資産構成表内月間騰落率ならびに1ページ目の各ファンドの組入比率から類推される数値は、乖離が生じる場合があります。
- ・要因分析の計算は「簡便法」により行っておりますので、実際の数値とは異なるケースがあります。したがって、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。
- ・掲載した要因分析は、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

主な国の株価指数と為替の月間騰落率（4月）

国名	株価指標名	騰落率	通貨名	騰落率
香港	ハンセン	▲10.3%	香港ドル	5.0%
シンガポール	FTSEストレイトタイムズ指数	▲3.5%	シンガポールドル	3.0%
マレーシア	FTSEブルサマレーシアKLCIインデックス	0.2%	マレーシアリンギット	1.5%
タイ	SET	▲2.1%	タイバーツ	1.9%
インドネシア	ジャカルタ総合	2.0%	インドネシアルピア	4.7%
フィリピン	フィリピン総合	▲4.2%	フィリピンペソ	5.1%

- ・株価指数の騰落率は、ファンドの資産評価日ベースで、現地日付ベースではありません。
- ・為替の騰落率は、三菱UFJ銀行などのデータを基にアセットマネジメントOneが作成しています。
- ・掲載した国および株価指数・為替は代表的と考えられるものをご参考として掲載したものです。したがって、各騰落率のデータとあわせて、将来の投資先や投資成果を示唆・保証するものではありません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



サザンアジア・オールスター株式ファンド

2022年4月28日現在

新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンドの内容

資産構成

内訳	4月末
外国株式等	99.5 %
その他資産	0.5 %
合計	100.0 %
月間騰落率	▲ 3.6 %

・外国株式等には、新株予約権証券・投資証券を含んで表示しております。

基準価額の推移 (2007年1月31日 ~ 2022年4月28日)



外国株式等組入上位5業種

	業種名	比率
1	銀行	11.2%
2	不動産	11.1%
3	資本財	10.0%
4	食品・飲料・タバコ	10.0%
5	公益事業	9.0%

・業種は、世界産業分類基準 (GICS) です。

外国株式等組入5通貨

	通貨名	比率
1	香港ドル	80.6%
2	オフショア・人民元	17.3%
3	米ドル	1.6%
4	-	-
5	-	-

・比率は、新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ・各比率は、小数第2位を四捨五入しております。

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

月間の運用経過

4月の中国・香港市場は下落しました。月初は上海における厳格なロックダウンの実施を背景に景気減速懸念が強まり下落して始まりました。その後は上海でのロックダウンが長引く観測や、広州や北京などの主要都市での感染拡大が見られたこと、中国政府の金融緩和に対する姿勢が予想より慎重だったこと等を受けて、月下旬にかけて下落幅が拡大しました。月末近辺では、上海や北京での感染拡大の一巡に加えて、中国政府が経済安定のため政策支援を強化する方針を示したことで大きく反発しました。インフラ建設への期待を受けて関連銘柄が上昇したほか、インターネットセクターへの規制が緩和されるとの見方から大型テクノロジー株も大幅高となりました。基準価額は前月末比で下落となりました。コミュニケーションサービス、不動産、一般消費財等のセクターが上昇した一方、資本財、金融セクターが下落しました。

今後の運用方針

中国経済に関しては、足元は新型コロナウイルス感染拡大を受けた大都市のロックダウンにより経済への影響が避けられないものとなっていますが、感染状況の落ち着きに伴い生産活動や物流が改善に向かうことが期待されます。また、中国政府により経済の安定成長を促進する姿勢が示され、引き続き金融・財政両面における景気支援策への期待が高まると思われます。したがって、こうした経済活動の下振れが一巡することに伴い、下期にかけて経済や企業業績が循環的な回復フェーズに入ると見えています。一方、インターネットをはじめとした各種産業への政府規制、米中関係や地政学リスクなど、依然として様々な不確実性が存在していることも、市場の変動要因となりうると考えています。当ファンドでは、そのようなリスク要因も注視しつつ、都市化や消費のアップグレード、産業高度化等の構造的な変化を捉え、好業績が見込まれる内需関連株に引き続き重点投資を行う方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



アセットマネジメントOne株式会社



サザンアジア・オールスター株式ファンド

2022年4月28日現在

新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンドの内容

外国株式等組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

銘柄名	業種名	通貨名	比率	銘柄解説
1 AIA GROUP LTD	保険	香港ドル	7.2%	【AIAグループ】香港を基盤とするアジア保険大手。香港や東南アジアで高いシェアを持ち、中国でも事業基盤を拡大している。
2 HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	各種金融	香港ドル	6.7%	【香港証券取引決済所】香港の証券取引所。香港や中国本土企業だけでなく、日欧などの有力企業による上場も増加しており、アジアの金融センターの中核を担う。
3 TECHTRONIC INDUSTRIES CO	資本財	香港ドル	6.1%	【テクトロニック・インダストリーズ】香港に本社を置く電動工具メーカー。広東省にあるメイン工場で電動工具を生産し香港中国および海外へ展開している。近年はコードレスタイプの電動工具が人気。
4 BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	銀行	香港ドル	4.8%	【BOCホンコン(ホールディングス)】中国四大商業銀行、バンク・オブ・チャイナの香港部門。香港の発券銀行の1つに数えられる有数の銀行。
5 CHINA MENGNIU DAIRY CO	食品・飲料・タバコ	香港ドル	4.7%	【チャイナ・メンニウ・デイリー】拡大が続く中国の乳製品市場において存在感を高める大手乳製品メーカー。
6 SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDICAL ELECTRONICS CO LTD	ヘルスケア機器・サービス	オフショア・人民元	4.5%	【深セン・ミンドレイ・バイオメディカル】中国の大手医療機器メーカー。通常の医療機器から高度な画像診断用の機器など、様々な医療機器を製造、販売。中国国内の医療ニーズの拡大や高度化が最大のドライバー。
7 HANG SENG BANK LTD	銀行	香港ドル	4.1%	【ハンセン・バンク】香港の銀行でHSBC傘下。リテール業務に強く、堅実経営に定評。
8 CHINA TOURISM GROUP DUTY FREE CORP LTD	小売	オフショア・人民元	3.9%	【チャイナ・ツーリズム・グループ・デューティーフリー】中国最大手の免税店運営会社。海南島では世界最大級の免税ショッピングセンターを運営。複数の同業大手を買収し事業規模を拡大している。
9 GALAXY ENTERTAINMENT GROUP LTD	消費者サービス	香港ドル	3.7%	【ギャラクシー・エンターテインメント・グループ】マカオでカジノを運営する。コタイ地区でギャラクシー・マカオをオープンさせたほか、隣接地に広大な建設予定地を保有している。
10 CLP HOLDINGS LTD	公益事業	香港ドル	3.7%	【CLPホールディングス】九龍や新界で電力供給を行う香港の大手電力会社。豪州や中国、インドでも事業を行い、クリーンエネルギーにも意欲的に取り組む。

株式等組入銘柄数 32銘柄 10銘柄組入比率合計 49.5%

- ・比率は、新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・業種は、世界産業分類基準(GICS)です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



アセットマネジメントOne株式会社



サザンアジア・オールスター株式ファンド

このページは、「東京海上アセットマネジメント株式会社」のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しております。

2022年4月28日現在

TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの内容 (4月27日号)

資産構成

内訳	2022/4/27
外国株式等	93.9 %
その他資産	6.1 %
合計	100.0 %
月間騰落率	0.5 %

・外国株式等には、新株予約権証券・投資証券を含んで表示しております。

基準価額の推移 (2007年1月30日 ~ 2022年4月27日)

(2007年1月29日を10,000として指数化)



外国株式等組入上位5業種

業種名	比率
1 銀行	31.0%
2 電気通信サービス	12.4%
3 食品・飲料・タバコ	9.1%
4 メディア・娯楽	5.3%
5 ヘルスケア機器・サービス	4.8%

・業種は、世界産業分類基準 (GICS) です。

外国株式等組入6カ国

国名	比率
1 シンガポール	33.6%
2 インドネシア	22.7%
3 タイ	18.6%
4 マレーシア	9.5%
5 フィリピン	7.2%
6 ベトナム	2.4%

- ・日付は、TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの基準価額算出日です。
- ・比率は、TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・各比率は、小数第2位を四捨五入しております。

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

(2022/03/30 ~ 2022/04/27 の内容です。)

東南アジア株式市場の動向と運用経過

当月の東南アジア株式市場は前月末対比で下落しました。世界的な株安の流れに加え、インフレリスクの台頭などにより域内各国の中央銀行が金利引き上げに動いたことなどをを受け、月を通して下落基調で推移しました。個別市場では、域内の過半の株式市場は前月末対比で下落しました。インドネシア市場は、エネルギー関連や消費財関連銘柄を中心に域内でも相対的に堅調な動きとなり前月末対比で上昇しました。マレーシア市場は、前月末対比で横ばいとなりました。タイ市場は、公益関連や通信関連銘柄の下落を受けて前月末対比で下落しました。シンガポール市場は、消費関連銘柄の下落を受けて前月末対比で下落しました。フィリピン市場は、前月末対比で下落しました。公益関連や資本財関連銘柄などの下落が目立ちました。ベトナム市場も前月末対比で下落しました。

翌月の投資環境見通しと今後の運用方針

世界の株式市場にとって、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化はリスク要因となりますが、東南アジア域内の経済は、ロシアへの依存度が相対的に低く、直接的な影響は比較的小さいと判断しています。また、コロナ感染者数は中国など一部地域を除き減少傾向にあり、渡航制限をはじめとする各種規制も緩和されています。一方、資源価格の上昇に伴うインフレの継続は東南アジア域内の経済にとってリスク要因と考えます。製造業を中心に、原材料高上昇によって収益性が悪化する企業が増えており、値上げによる対応も需要を縮小させる可能性がある点にも注意が必要です。中長期的には、経済活動の段階的な再開とそれに伴う景気回復によって、域内株式市場は堅調さを維持すると想定します。労働人口増加や可処分所得上昇、信用拡大による個人消費拡大への期待や、旺盛な需要を背景としたインフラ投資などが域内の内需拡大に寄与すると考えており、東南アジア株式市場は域内の経済成長に支えられ、上昇基調を維持すると想定します。当面のリスク要因であるウクライナ情勢および原材料高が企業業績に与える影響に関して注意深くモニタリングしながら迅速に対応していく方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



アセットマネジメントOne株式会社



サザンアジア・オールスター株式ファンド

このページは、「東京海上アセットマネジメント株式会社」のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しております。

2022年4月28日現在

TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの内容 (4月27日号)

外国株式等組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

銘柄名	業種名	通貨名	比率	銘柄解説
1 DBS GROUP HOLDINGS LTD	銀行	シンガポールドル	7.4%	【DBSグループ・ホールディングス】シンガポールの大手金融グループ。グループ内で、商業銀行、投資銀行業務などを展開。
2 SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	電気通信サービス	シンガポールドル	6.0%	【シンガポール・テレコム】シンガポールの最大手通信会社。同国をはじめオーストラリアやインド、東南アジア各国で固定・携帯電話事業、インターネット事業を展開。
3 UNITED OVERSEAS BANK LTD	銀行	シンガポールドル	5.2%	【ユナイテッド・オーバーシーズ銀行】シンガポールの大手商業銀行。法人・個人向けの銀行部門により特化している。グループ全体では信託業務、ベンチャーキャピタル投資、保険業務なども展開。
4 BANK CENTRAL ASIA TBK PT	銀行	インドネシアルピア	5.0%	【バンク・セントラル・アジア】インドネシアの大手商業銀行。多くの支店を展開し、決済サービスなど個人向け金融サービスに強みを持つ。
5 BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	銀行	インドネシアルピア	4.6%	【バンク・ラヤット・インドネシア】インドネシアの商業銀行。インドネシア国内では最大級の規模を誇り、少額融資に強みを持つ。
6 SEA LTD-ADR	メディア・娯楽	アメリカドル	4.5%	【シー】世界各地で事業展開を行う情報技術サービス会社。オンライン・デジタル・コンテンツやEコマース、決済プラットフォームなどを提供する。
7 ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	自動車・自動車部品	インドネシアルピア	3.3%	【アストラ・インターナショナル】インドネシアの大手自動車ディーラー。トヨタをはじめとした世界の自動車メーカーの自動車、二輪車の完成車や部品の販売、組み立てなどを行う。
8 OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	銀行	シンガポールドル	3.2%	【オーバーシー・チャイニーズ銀行】シンガポールの大手商業銀行。法人向け銀行部門に注力するほか、保険部門も一定の存在感がある。その他、証券・先物取引、信託・受託などの幅広い金融サービスを提供。
9 GENTING SINGAPORE LTD	消費者サービス	シンガポールドル	3.0%	【ゲンティン・シンガポール】シンガポールのリゾート開発会社。子会社を通じてリゾート地の開発およびカジノ経営を手掛けており、世界各地にカジノや総合リゾートを展開する。
10 BANGKOK DUSIT MED SERVI-NVDR	ヘルスケア機器・サービス	タイバーツ	2.9%	【バンコク・ドゥシット・メディカル・サービスズ】バンコクゼネラル病院を運営。理学療法、画像診断に加え、循環器系、呼吸器系、脳神経系、眼科系、泌尿・生殖器系の疾患治療に注力する。

株式等組入銘柄数 43銘柄 10銘柄組入比率合計 45.2%

- ・比率は、TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・業種は、世界産業分類基準(GICS)です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



アセットマネジメントOne株式会社



サザンアジア・オールスター株式ファンド

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて中国(華南地域)と東南アジア諸国の株式に投資します。実質的に組み入れた株式の値動き、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

1. 中国(主として香港、マカオなどの華南地域※)ならびに東南アジア(シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムなど)の株式に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。

※華南地域(華南)とは、当ファンドでは、香港、マカオおよび中国南部の広東省、海南省、福建省を指します。

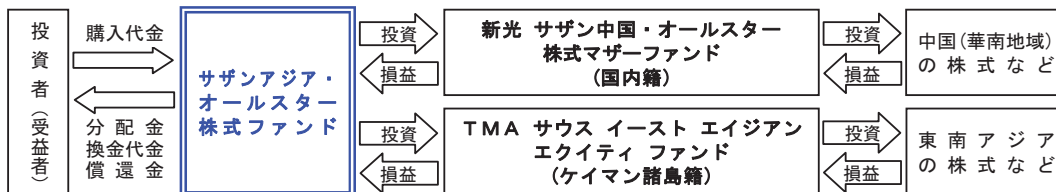
2. 投資対象地域の、主としてサービス分野に関連する企業の株式に、実質的な投資を行います。

※当ファンドで注目するサービス分野とは、人々に対して、快適さ、心地良さなどをもたらすサービスや商品を取り扱う産業全般を指し、製造業を排除するものではありません。

3. 2本のファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。

◆国内投資信託「新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド(以下「マザーファンド」という場合があります。)」を通じて中国(華南地域)の株式に、ケイマン諸島籍外国投資信託「TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド(以下「東南アジアファンド」という場合があります。)」を通じて東南アジア諸国の株式に投資するファンド・オブ・ファンズです。

◆「新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド」はアセットマネジメントOne株式会社が運用を行い、「TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド」は東京海上アセットマネジメント株式会社(TMA)と、シンガポールを拠点とするTokio Marine Asset Management International Pte. Ltd.(TMA I)が共同で運用を行います。



※TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの受益証券は円建てで発行されます。

◆投資信託証券の組入比率は、原則として高位とすることを基本とし、各投資信託証券への投資割合は、それぞれの投資対象市場の規模などを勘案して決定します。当ファンド(サザンアジア・オールスター株式ファンド)の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ40%から60%の範囲内とします。

◆投資信託証券に含まれる外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。

◆「TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド」への投資にあたっては、東京海上アセットマネジメント株式会社から投資助言および情報提供を受けます。

4. 原則として、年1回(毎年1月25日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

◆分配金額は、委託会社が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。





サザンアジア・オールスター株式ファンド

主な投資リスクと費用（くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 当ファンドは実質的に中国および東南アジアの株式などに投資しますが、一般に新興国市場は、先進国市場に比べて規模が小さく、流動性も低く、金融インフラが未発達であり、様々な地政学的問題を抱えていることから、カントリーリスクはより高くなる可能性があります。
株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。また、当ファンドは先進国通貨以外の外貨建証券にも実質的に投資を行うことから、為替変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	当ファンドが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。
信用リスク	有価証券などの発行体が業績悪化・経営不振あるいは倒産に陥った場合、当該有価証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなる場合があります。また、有価証券の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該有価証券の価格は下落します。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
投資対象ファンドにかかる税制変更のリスク	当ファンドが組み入れる外国投資信託の設定地および当該外国投資信託が投資を行う国において、税制などの変更があった場合には、その影響を受け当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆収益分配金に関する留意事項◆

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売却益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



サザンアジア・オールスター株式ファンド

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までには販売会社が受けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・香港証券取引所の休業日 ・ルクセンブルグの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受けた購入・換金のお申込みを取り消す場合があります。
信託期間	2027年1月25日まで(2007年1月31日設定)
繰上償還	当ファンドが主要投資対象とする東南アジアファンドが償還した場合または以下に掲げる事項の変更により商品の同一性が失われた場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)させます。 ・東南アジアファンドの主要投資対象が変更となる場合 ・東南アジアファンドの取得の条件または換金の条件について、投資者に著しく不利となる変更がある場合 次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益権の総口数が10億口を下回った場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



サザンアジア・オールスター株式ファンド

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<ul style="list-style-type: none"> ・実質的な負担:ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.678%~1.802%(税抜1.548%~1.672%)程度 ※上記は概算の数値です。実際の運用管理費用(信託報酬)は、投資信託証券の組入状況に応じて変動します。 ・当ファンド:ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.43%(税抜1.3%) ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※信託報酬には、当ファンドの投資顧問会社(東京海上アセットマネジメント株式会社)に対する投資顧問報酬(年率0.012%~0.018%程度(税抜))が含まれます。 ・投資対象とする外国投資信託:東南アジアファンドの純資産総額に対して年率0.248%~0.372% ※当該外国投資信託の組入比率を40%~60%として概算したものです。
その他の費用・手数料	<p>その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・外国での資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 <p>監査費用は毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。</p> <p>※投資対象とする投資信託証券においては、有価証券等の売買手数料等がかかります。</p> <p>※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



サザンアジア・オールスター株式ファンド

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人 ◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
 [ファンドの運用の指図を行う者]
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

<受託会社>三井住友信託銀行株式会社
 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]

<販売会社>販売会社一覧をご覧ください

<投資顧問会社>東京海上アセットマネジメント株式会社
 [委託会社に対して投資助言および情報提供などを行います。]

◆委託会社の照会先 ◆

アセットマネジメントOne株式会社
 コールセンター 0120-104-694
 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>



サザンアジア・オールスター株式ファンド

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2022年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	○				
アーク証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1号	○				
安藤証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第1号	○				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
永和証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第5号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
岡安証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第8号	○				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○	
木村証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第6号	○				
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号	○				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○		○		
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○				
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	
立花証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第110号	○		○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長(金商)第1号	○				
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号	○				
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○			○	
フィリップ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号	○		○		
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	○				
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号	○				
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○			
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○				
三田証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第175号	○				
三津井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	○				
三豊証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第7号	○				
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○			※1
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○	※1
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	○				※1
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	○				※1

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

